

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	静岡英和学院大学
設置者名	学校法人静岡英和学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業科目毎の授業計画(シラバス)を作成し、大学HPに検索サイトを公表している。 ・授業計画(シラバス)の作成過程 ① 授業担当者がシラバス案を作成 ② 授業目的・内容・評価方法等について自己点検し、チェックシートを提出 ③ 専任教員による第三者チェックを実施し、授業担当者にフィードバック ④ 授業担当者が修正 ・授業計画の作成と公表時期 3月末	
授業計画書の公表方法	大学HPにシラバス検索サイトを公開(https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/dev_stage/campuslife/syllabus.html)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) GPAやCAP制度等を利用し、履修単位の認定を厳格かつ適正に認定しているほか、成績の評価方法や基準を授業計画(シラバス)にて公開し、出欠やレポート、授業態度等複合的要素からの総合的な評価を徹底している。 また、学内のポータルサイトにて、ディプロマポリシーに基づく成績評価の達成度をレーダーチャートで示しており、学生は自身の学修成果を視覚的に確認し、分析できる体制を整えている。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) GPA 制度を導入し、大学 HP 等により判定基準を公表している。 ・成績評価及び判定基準 履修登録科目の成績を S, A, B, C, F の 5 段階で評価し、S を 4 点、A を 3 点、B を 2 点、C を 1 点、F を 0 点としてそれぞれの単位数を乗じ、その合計ポイントを履修単位数の総和で除して算出した平均点。 ・成績の分布状況の把握 添付資料「客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料」等を、教員による学生指導や教務委員会をはじめとする会議体での教育改革に活用している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	大学 HP (https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/dev_stage/campuslife/syllabus.html)
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 各学科におけるディプロマポリシーを大学 HP 等で公表している。 ・卒業の認定に関する方針の具体的な内容 学位を授与するために必要な能力や資質を学科ごとに示している。 ・卒業の認定に関する適切な実施状況 課程に定める所定の単位を修得した者のリストから、教務委員会及び教授会において、本学のディプロマポリシーに沿って卒業を審議している。なお、学生は自らの達成状況を学内ポータルから常時確認することができる。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	大学 HP (https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/about/policy.html)